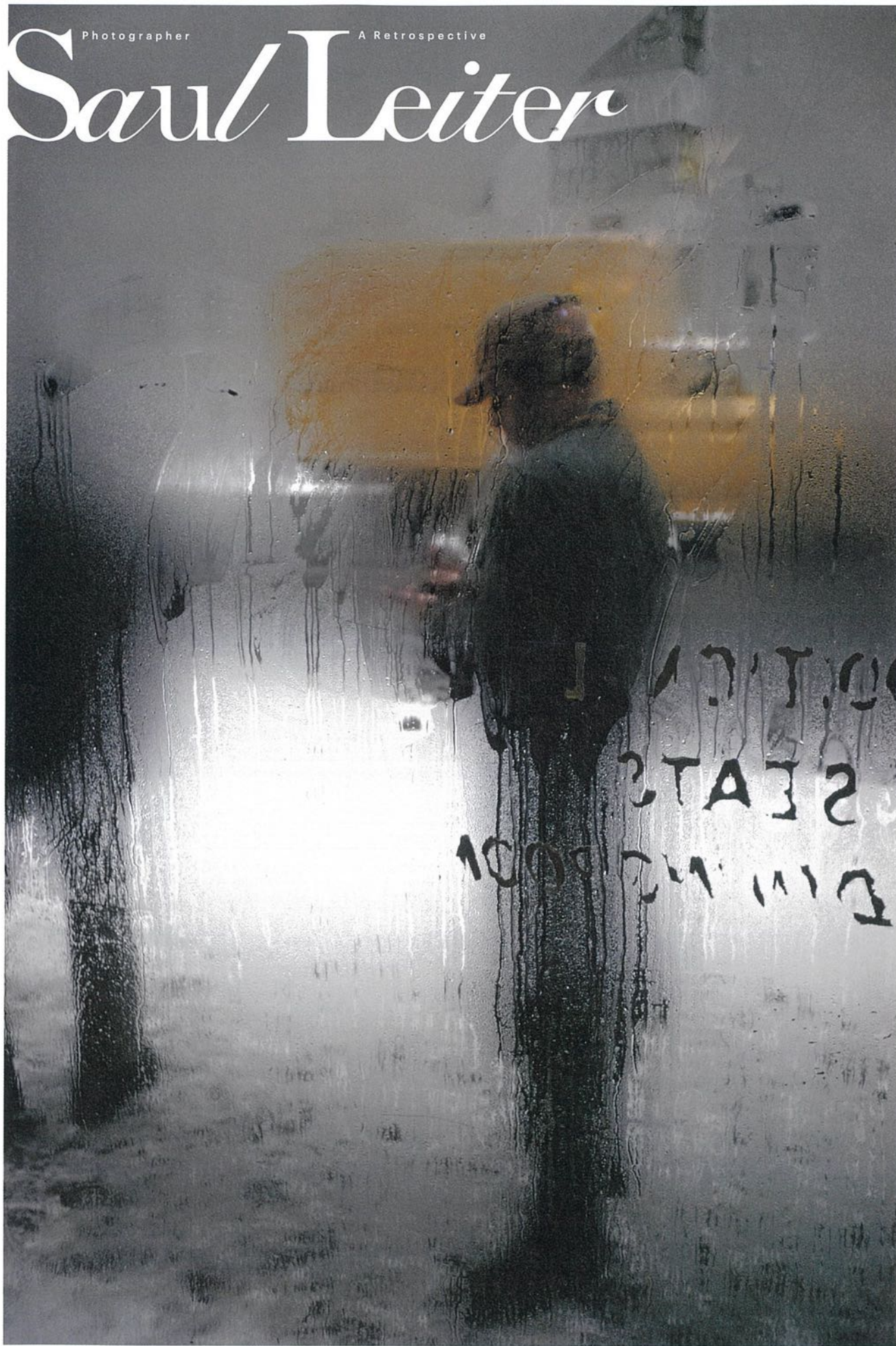


Photographer A Retrospective

Saul Leiter

ニューヨークが生んだ伝説

写真家 ソール・ライター展



ソール・ライター《雪》1960年 彩色複写方式印刷 ソール・ライター財団蔵 ©Saul Leiter Estate

主催: Bunkamura 協力: ソール・ライター財団、ニューヨーク市観光局、デルタ航空、富士フィルムイメージングシステムズ
後援: J-WAVE 企画協力: コンタクト

【開館時間】 10:00～18:00(入館は17:30まで) *本展より、日～木曜日の開館時間が18:00までとなります。

【夜間開館】 毎週金・土曜日は21:00まで(入館は20:30まで)

【お問合せ】 Tel: 03-5777-8600(ハローダイヤル) 【ホームページ】 <http://www.bunkamura.co.jp>

美しい時代へ
東急グループ



Bunkamura ザ・ミュージアム

4/29 [土・祝] 2017 6/25 [日]

5/9[火]・6/6[火] 休館

Photographer A Retrospective

Saul Leiter

ニューヨークが生んだ伝説

写真家 ソール・ライター展



ソール・ライター《天蓋》1958年 彩色現像方式印刷 ソール・ライター財団蔵 ©Saul Leiter Estate

主催: Bunkamura 協力: ソール・ライター財団、ニューヨーク市観光局、デルタ航空、富士フィルムイメージングシステムズ

後援: J-WAVE 企画協力: コンタクト

【開館時間】 10:00~18:00(入館は17:30まで) * 本展より、日~木曜日の開館時間が18:00までとなります。

【夜間開館】 毎週金・土曜日は21:00まで(入館は20:30まで)

【お問合せ】 Tel: 03-5777-8600(ハローダイヤル) 【ホームページ】 <http://www.bunkamura.co.jp>

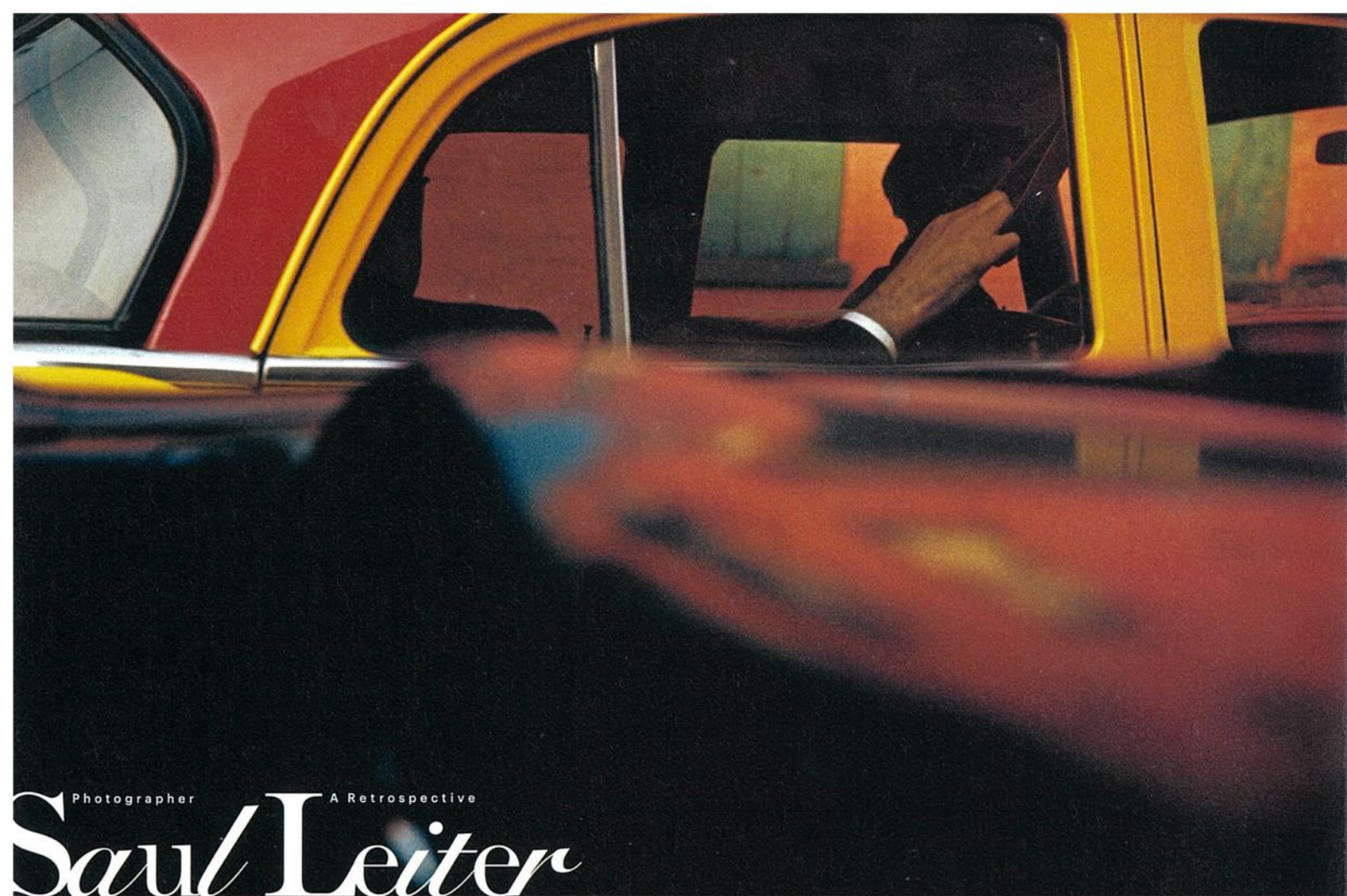
美しい時代へ
東急グループ



Bunkamura ザ・ミュージアム

4/29 [土・祝] 2017 6/25 [日]

5/9[火]・6/6[火] 休館



Photographer A Retrospective
Saul Leiter

ソール・ライター《タクシー》1957年 発色複製方式印刷 ソール・ライター財団蔵 ©Saul Leiter Estate

見るものがすべてが写真になる

ソール・ライター
1950年代からニューヨークで第一線のファッション・カメラマンとして活躍しながら、1980年代に商業写真から退き、世間から姿を消したソール・ライター(1923-2013)。写真界でソール・ライターが再び脚光を浴びるきっかけとなったのが、2006年にドイツのシュタイデル社によって出版された作品集でした。時に、ソール・ライター83歳。この新たな発見は大きなセンセーションを巻き起こし、その後、展覧会開催や出版が相次ぎました。2012年にはドキュメンタリー映画「写真家ソール・ライター 急がない人生で見つけた13のこと」(日本公開は2015年)が公開され、その名前と作品はさらに多くの人々の知るところとなります。

本展は、ニューヨークのソール・ライター財団の全面的な協力を得て、同財団所蔵の写真作品(モノクロ、カラー)、絵画作品をはじめ、貴重な資料を含む200点以上を一堂に集め、天性の色彩感覚によって「カラー写真のパイオニア」と称されたライターの創造の秘密に迫る日本初の回顧展です。

生涯、美の探究者であったソール・ライターは、「私たちが見るものがすべてが写真になる」、という言葉を残しています。日常で見逃してしまう些細な風景の中にある「美」の存在、そして、その「美」の発見によってそれぞれが生きる姿勢を変えることもできる、ということをライターの作品は静かに示唆してくれます。



ソール・ライター《看板描き》1954年 発色複製方式印刷 ソール・ライター財団蔵 ©Saul Leiter Estate

入館料(消費税込)	当日	前売・団体	【前売券販売期間】2017年2月23日(木)～4月28日(金) 【チケット販売所】 Bunkamuraチケットセンター、Bunkamuraザ・ミュージアム、 オンラインチケットMY Bunkamura、ローソンチケット、チケットぴあ、 セブン-イレブン、ファミリーマート、e+ (イープラス)、JTB、 ちけっとぽーと各店 他 主要プレイガイド
一般	1,400円	1,200円	
大学・高校生	1,000円	800円	
中学・小学生	700円	500円	

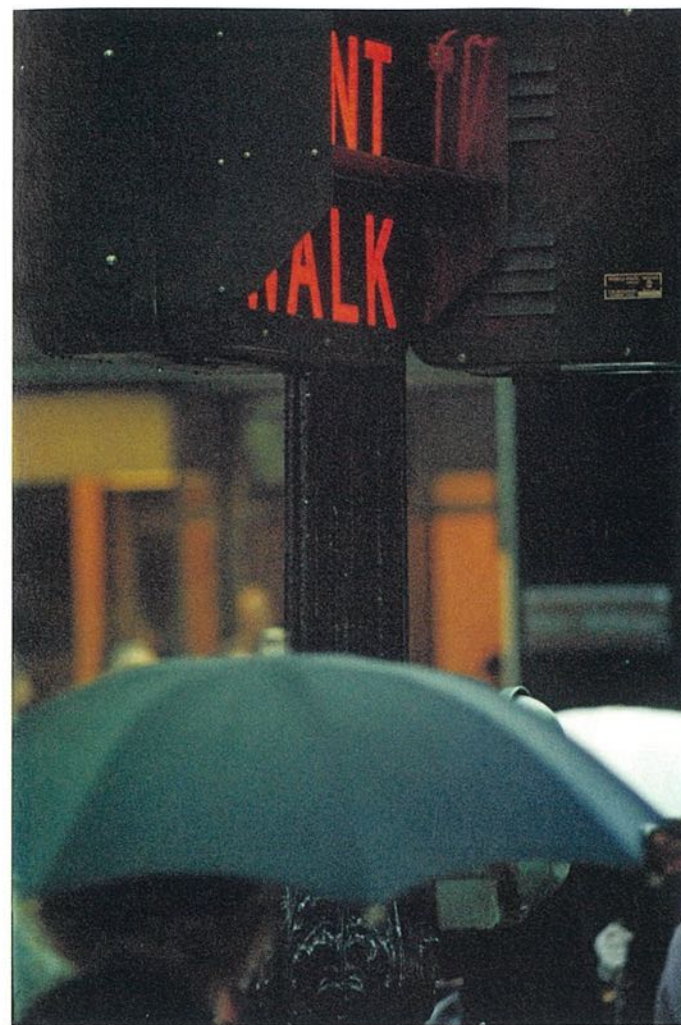
●団体は20名様以上。電話でのご予約をお願いいたします(申込み先:Bunkamura Tel. 03-3477-9413)
●学生券をお求めの場合は、学生証のご提示をお願いいたします。(小学生は除く) ●障害者手帳のご提示で割引料あり。詳細は窓口でお尋ねください。

Bunkamuraザ・ミュージアム
(渋谷・東急本店横)
〒150-8507 東京都渋谷区道玄坂2-24-1
【お問合せ】
Tel:03-5777-8600(ハローダイヤル)
【Bunkamuraホームページ】
<http://www.bunkamura.co.jp>



●JR線/渋谷駅(ハチ公口)より徒歩7分 ●東京メトロ・銀座線・京王・井の頭線/渋谷駅より徒歩7分
●東急・東横線・田園都市線・東京メトロ・半蔵門線・副都心線/渋谷駅(3a出口)より徒歩5分
※当館には専用駐車場はございません。東急本店駐車場をご利用ください(有料)。

【ソール・ライター財団 HP】 sauleiterfoundation.org



ソール・ライター《Don't Walk(赤信号)》1952年 発色複製方式印刷 ソール・ライター財団蔵 ©Saul Leiter Estate

記念講演会

- 1 ■日時:2017年4月30日(日)18:30-20:30(予定)
■場所:Bunkamuraザ・ミュージアム展示室内
■講師:ポリヌ・ヴェルマル氏(ニューヨーク国際写真センター(ICP)、アソシエイト・キュレーター)/
マーギット・アープ氏(ソール・ライター財団創設者、ディレクター)
■定員:60名様 ※通訳付き ■参加費:無料 ※要本展チケット(半券)提示
■申し込み方法:事前申込 ※Bunkamura HPにてお知らせいたします。

- 2 ■日時:2017年6月1日(木)18:30-20:30(予定)
■場所:Bunkamuraザ・ミュージアム展示室内
■講師:飯沢耕太郎氏(写真評論家)/平松洋子氏(エッセイスト)
■定員:60名様 ■参加費:無料 ※要本展チケット(半券)提示
■申し込み方法:事前申込 ※Bunkamura HPにてお知らせいたします。

映画「写真家ソール・ライター 急がない人生で見つけた13のこと」上映決定!



「人生で大切なことは、何を手に入れるかじゃない。
何を捨てるかということだ」
と語り、あえて名声から距離を置いて生きたソール・ライター。
その人生がわれわれに語りかけるものとは?

2012年/イギリス・アメリカ/75分/カラー/配給:テレビマンユニオン
監督・撮影:トーマス・リーチ 日本語字幕:柴田元幸
料金:1,200円均一
★ザ・ミュージアムの半券提示で1,000円

※上映スケジュールは決定次第Bunkamura HPにてお知らせいたします。

Bunkamura
ル・シネマ

アートで旅するニューヨーク コラボメニュー

バナナウォールナッツパンケーキ ¥1,200(税込) *メニュー提供期間 4/15(土)～6/25(日)

ニューヨークの人種・文化・芸術が重なり合い発信していく街をイメージし、シンプルなパンケーキにフルーツやナッツ、ソースでカラフル華やかに仕上げました。

★ル・シネマ/ザ・ミュージアムの半券提示で200円OFF



ロビーラウンジ (1F) 03-3477-9185
10:00～19:30 (ラストオーダー19:00)

Shizuku(雫) ¥1,000(税込) *メニュー提供期間 4/29(土・祝)～6/25(日)

『有名人を撮るよりも、雨に濡れた窓を撮る方が良い』
「カラー写真のパイオニア」と称されたソール・ライターの作品をカクテルにしました。パーボン・ソーダをベースに、窓越しに映る色彩を氷の中のエディブルフラワーで。

★ル・シネマ/ザ・ミュージアムの半券提示で100円OFF



ドゥ マゴ パリ (1F、B1F) 03-3477-9124
平日・土曜日11:30～22:30(フードL.O.21:30/ドリンクL.O.22:00)
日曜・祝祭日11:30～21:30(フードL.O.20:30/ドリンクL.O.21:00)



Photographer | ニューヨークが生んだ伝説 写真家 ソール・ライター展 |

Saul Leiter

A Retrospective

2018.4.7 sat. — 5.20 sun. | 休館日 | 月曜日 (4月30日は開館, 翌5月1日は休館)
開館時間 | 10:00-18:00まで (入館は17:30まで) |

主催 | 伊丹市立美術館 (公益財団法人いたみ文化・スポーツ財団 / 伊丹市) 共催 | 伊丹市教育委員会
協力 | ソール・ライター財団, ニューヨーク市観光局, デルタ航空, 富士フイルムイメージングシステムズ
キュレーター | ポリーヌ・ヴェルマール 企画協力 | コンタクト

伊丹市立美術館 |

Saul Leiter A Retrospective

1950年代からニューヨークで第一線のファッション・カメラマンとして活躍するも、80年代に商業写真から退き、世間から姿を消したソール・ライター(1923-2013)。しかし2006年、ドイツのシュタイデル社から出版された作品集をきっかけに再び脚光を浴び、世界的なセンセーションを巻き起こします。時にソール・ライター83歳。相次ぐ展覧会開催や出版にとどまらず、2012年にはドキュメンタリー映画「写真家ソール・ライター 急がない人生で見つけた13のこと」(日本公開は2015年)が公開されるなど、その名前と作品は多くの人々の知るところとなります。そして待望の日本初回顧展を昨年の東京会場につづき、関西で開催いたします。ニューヨークのソール・ライター財団の全面的な協力を得て、同財団所蔵の写真作品(モノクロ、カラー)をはじめ、絵画作品やスケッチブックなどの貴重な資料を含めた約200点を一堂に紹介します。「私たちが見るものすべてが写真になる」というライターの言葉にもあるように、日常のなかで見過ごされがちな一瞬のきらめきを天性の色彩感覚でとらえ、「カラー写真のパイオニア」と称された伝説の写真家に迫ります。

入館料 | 一般800(700)円、大高生450(350)円、中小生150(100)円

* ()内は20名以上の団体割引

* 兵庫県内の小中学生はココロカード提示にて無料

* 4市1町在住(伊丹市・川西市・宝塚市・三田市・猪名川町)の高齢者割引有
(平日60歳以上、土日祝65歳以上)

イベント

夜の講演会「ソール・ライターと1950年代アメリカ文化」

講師 | 柴田元幸(東京大学文学部特任教授/翻訳家/アメリカ文学研究者)

日時 | 4月7日(土)18:30-(1時間半予定) 会場 | 美術館展示室内

聴講料 | 1,000円(展覧会観覧料込) 定員 | 50名 *要事前申込(先着順)

申込方法 | 往復ハガキに参加者のお名前(2名まで)と代表者のご連絡先(郵便番号・住所・電話番号)をご記入の上、3月23日(金)消印有効までに伊丹市立美術館「講演会係」(〒664-0895伊丹市宮ノ前2-5-20)へ郵送してください。

* 締切前に定員に達した場合はその時点で受付を終了します。

* 就学前のお子様の入場はご遠慮ください。

記念講演会

講師 | マーギット・アープ(ソール・ライター財団創設者/ディレクター)

日時 | 4月15日(日)14:00-

会場 | 美術館1階講座室 定員 | 120名

* 要当日観覧券/聴講無料/当日10時より1階チケット受付にて整理券配布

特別上映会「写真家ソール・ライター 急がない人生で見つけた13のこと」

日時 | 4月29日(日)・5月12日(土) 11:15-(11:00開場 約75分)

会場 | 美術館1階講座室 定員 | 80名

* 要当日観覧券/聴講無料/当日10時より1階チケット受付にて整理券配布

今春、関西でカラー写真が楽しめるオススメ展覧会!

蛸川実花写真展 UTAGE 京都花街の夢 | 4月14日(土) - 5月13日(日) | 美術館「えき」KYOTO

永遠の少年、ラル・ティエーグー 写真は魔法だ! - | 4月21日(土) - 6月3日(日) | 細見美術館



《雪》1960年

《郵便配達》1952年



《床屋》1956年

《バス》1954年

全てソール・ライター財団蔵 ©Saul Leiter Foundation



伊丹市立美術館

〒664-0895 兵庫県伊丹市宮ノ前2-5-20

TEL | 072 772 7447 <http://www.artmuseum-itami.jp>

交通案内 | 阪急伊丹駅より徒歩北東へ約9分 / JR伊丹駅より徒歩北西へ約6分 / 阪急バスの伊丹中央停留所より徒歩北へ約3分

* 専用駐車場はありません。宮ノ前地下駐車場(有料)をご利用ください。

NT
WALK

Photographer | ニューヨークが生んだ伝説 写真家 ソール・ライター展 |

Saul Leiter

A Retrospective

2018.4.7 sat. — 5.20 sun. | 休館日 | 月曜日 (4月30日は開館, 翌5月1日は休館)
開館時間 | 10:00-18:00まで (入館は17:30まで) |

主催 | 伊丹市立美術館 (公益財団法人いたみ文化・スポーツ財団 / 伊丹市) 共催 | 伊丹市教育委員会
協力 | ソール・ライター財団, ニューヨーク市観光局, デルタ航空, 富士フイルムイメージングシステムズ
キュレーター | ポリーヌ・ヴェルマル 企画協力 | コンタクト

伊丹市立美術館 |

Saul Leiter

A Retrospective

1950年代からニューヨークで第一線のファッション・カメラマンとして活躍するも、80年代に商業写真から退き、世間から姿を消したソール・ライター(1923-2013)。しかし2006年、ドイツのシュタイデル社から出版された作品集をきっかけに再び脚光を浴び、世界的なセンセーションを巻き起こします。時にソール・ライター83歳。相次ぐ展覧会開催や出版にとどまらず、2012年にはドキュメンタリー映画「写真家ソール・ライター 急がない人生で見つけた13のこと」(日本公開は2015年)が公開されるなど、その名前と作品は多くの人々の知るところとなります。そして待望の日本初回顧展を昨年の東京会場につづき、関西で開催いたします。ニューヨークのソール・ライター財団の全面的な協力を得て、同財団所蔵の写真作品(モノクロ、カラー)をはじめ、絵画作品やスケッチブックなどの貴重な資料を含めた約200点を一堂に紹介します。「私たちが見るものすべてが写真になる」というライターの言葉にもあるように、日常のなかで見過ごされがちな一瞬のきらめきを天性の色彩感覚でとらえ、「カラー写真のパイオニア」と称された伝説の写真家に迫ります。

入館料 | 一般800(700)円、大高生450(350)円、中小生150(100)円

* ()内は20名以上の団体割引

* 兵庫県内の小中学生はコロンカード提示にて無料

* 4市1町在住(伊丹市・川西市・宝塚市・三田市・猪名川町)の高齢者割引有
(平日60歳以上、土日祝65歳以上)

イベント

夜の講演会「ソール・ライターと1950年代アメリカ文化」

講師 | 柴田元幸 (東京大学文学部特任教授 / 翻訳家 / アメリカ文学研究者)

日時 | 4月7日(土) 18:30- (1時間半予定) 会場 | 美術館展示室内

聴講料 | 1,000円(展覧会観覧料込) 定員 | 50名 *要事前申込(先着順)

申込方法 | 往復ハガキに参加者のお名前(2名まで)と代表者のご連絡先(郵便番号・住所・電話番号)をご記入の上、3月23日(金)消印有効までに伊丹市立美術館「講演会係」(〒664-0895伊丹市宮ノ前2-5-20)へ郵送してください。

* 締切前に定員に達した場合はその時点で受付を終了します。

* 就学前のお子様の入場はご遠慮ください。

記念講演会

講師 | マーギット・アープ (ソール・ライター財団創設者 / ディレクター)

日時 | 4月15日(日) 14:00-

会場 | 美術館1階講座室 定員 | 120名

* 要当日観覧券 / 聴講無料 / 当日10時より1階チケット受付にて整理券配布

特別上映会「写真家ソール・ライター 急がない人生で見つけた13のこと」

日時 | 4月29日(日)・5月12日(土) 11:15- (11:00開場 約75分)

会場 | 美術館1階講座室 定員 | 80名

* 要当日観覧券 / 聴講無料 / 当日10時より1階チケット受付にて整理券配布

今春、関西でカラー写真が楽しめるオススメ展覧会!

鶴川実花写真展 UTAGE 京都花街の夢 | 4月14日(土)~5月13日(日) | 美術館「えき」KYOTO

永遠の少年、ラルティエーグ 写真は魔法だ! | 4月21日(土)~6月3日(日) | 細見美術館



《雪》1960年
《郵便配達》1952年

全てソール・ライター財団蔵 ©Saul Leiter Foundation



《床屋》1956年
《バス》1954年



伊丹市立美術館

〒664-0895 兵庫県伊丹市宮ノ前2-5-20

TEL 072-772-7447 <http://www.artmuseum-itami.jp>

交通案内 | 阪急伊丹駅より徒歩北東へ約9分 / JR伊丹駅より徒歩北西へ約6分 / 阪急バスの伊丹中央停留所より徒歩北へ約3分

* 専用駐車場はありません。宮ノ前地下駐車場(有料)をご利用ください。

Photographer | ニューヨークが生んだ伝説 写真家 ソール・ライター展 |

Saul Leiter

A Retrospective

2018.4.7 sat. — 5.20 sun. | 休館日 | 月曜日 (4月30日は開館, 翌5月1日は休館)
開館時間 | 10:00-18:00まで (入館は17:30まで) |

主催 | 伊丹市立美術館 (公益財団法人いたみ文化・スポーツ財団 / 伊丹市) 共催 | 伊丹市教育委員会
協力 | ソール・ライター財団, ニューヨーク市観光局, デルタ航空, 富士フイルムイメージングシステムズ
キュレーター | ポリーヌ・ヴェルマル 企画協力 | コンタクト

伊丹市立美術館 |

Saul Leiter A Retrospective

1950年代からニューヨークで第一線のファッション・カメラマンとして活躍するも、80年代に商業写真から退き、世間から姿を消したソール・ライター(1923-2013)。しかし2006年、ドイツのシュタイデル社から出版された作品集をきっかけに再び脚光を浴び、世界的なセンセーションを巻き起こします。時にソール・ライター83歳。相次ぐ展覧会開催や出版にとどまらず、2012年にはドキュメンタリー映画「写真家ソール・ライター 急がない人生で見つけた13のこと」(日本公開は2015年)が公開されるなど、その名前と作品は多くの人々の知るところとなります。そして待望の日本初回顧展を昨年の東京会場につづき、関西で開催いたします。ニューヨークのソール・ライター財団の全面的な協力を得て、同財団所蔵の写真作品(モノクロ、カラー)をはじめ、絵画作品やスケッチブックなどの貴重な資料を含めた約200点を一堂に紹介します。「私たちが見るものすべてが写真になる」というライターの言葉にもあるように、日常のなかで見過ごされがちな一瞬のきらめきを天性の色彩感覚でとらえ、「カラー写真のパイオニア」と称された伝説の写真家に迫ります。

入館料 | 一般800(700)円、大高生450(350)円、中小生150(100)円

* ()内は20名以上の団体割引

* 兵庫県内の小中学生はココロカード提示にて無料

* 4市1町在住(伊丹市・川西市・宝塚市・三田市・猪名川町)の高齢者割引有
(平日60歳以上、土日祝65歳以上)

イベント

夜の講演会「ソール・ライターと1950年代アメリカ文化」

講師 | 柴田元幸(東京大学文学部特任教授 / 翻訳家 / アメリカ文学研究者)

日時 | 4月7日(土)18:30-(1時間半予定) 会場 | 美術館展示室内

聴講料 | 1,000円(展覧会観覧料込) 定員 | 50名 *要事前申込(先着順)

申込方法 | 往復ハガキに参加者のお名前(2名まで)と代表者のご連絡先(郵便番号・住所・電話番号)をご記入の上、3月23日(金)消印有効までに伊丹市立美術館「講演会係」(〒664-0895伊丹市宮ノ前2-5-20)へ郵送してください。

* 締切前に定員に達した場合はその時点で受付を終了します。

* 就学前のお子様の入場はご遠慮ください。

記念講演会

講師 | マーギット・アープ(ソール・ライター財団創設者 / ディレクター)

日時 | 4月15日(日)14:00-

会場 | 美術館1階講座室 定員 | 120名

* 要当日観覧券 / 聴講無料 / 当日10時より1階チケット受付にて整理券配布

特別上映会「写真家ソール・ライター 急がない人生で見つけた13のこと」

日時 | 4月29日(日)・5月12日(土) 11:15-(11:00開場 約75分)

会場 | 美術館1階講座室 定員 | 80名

* 要当日観覧券 / 聴講無料 / 当日10時より1階チケット受付にて整理券配布

今春、関西でカラー写真が楽しめるオススメ展覧会!

穂川実花写真展 UTAGE 京都花街の夢 | 4月14日(土)〜5月13日(日) | 美術館「えき」KYOTO

永遠の少年、ラル・ティグー ー写真は魔法だ!ー | 4月21日(土)〜6月3日(日) | 細見美術館



《雪》1960年
《郵便配達》1952年



《床屋》1956年
《バス》1954年

全てソール・ライター財団蔵 ©Saul Leiter Foundation



伊丹市立美術館

〒664-0895 兵庫県伊丹市宮ノ前2-5-20

TEL | 072 772 7447 <http://www.artmuseum-itami.jp>

交通案内 | 阪急伊丹駅より徒歩北東へ約9分 / JR伊丹駅より徒歩北西へ約6分 / 阪急バスの伊丹中央停留所より徒歩北へ約3分

* 専用駐車場はありません。宮ノ前地下駐車場(有料)をご利用ください。

Photographer | ニューヨークが生んだ伝説 写真家 ソール・ライター展 |

Saul Leiter

A Retrospective

2018.4.7 sat. — 5.20 sun. | 休館日 | 月曜日 (4月30日は開館, 翌5月1日は休館)
開館時間 | 10:00-18:00まで (入館は17:30まで) |

主催 | 伊丹市立美術館 (公益財団法人いたみ文化・スポーツ財団 / 伊丹市) 共催 | 伊丹市教育委員会
協力 | ソール・ライター財団, ニューヨーク市観光局, デルタ航空, 富士フイルムイメージングシステムズ
キュレーター | ポリヌ・ヴェルマル 企画協力 | コンタクト

伊丹市立美術館 |

《天童》1958年 ソール・ライター財団蔵 ©Saul Leiter Foundation



Saul Leiter A Retrospective

1950年代からニューヨークで第一線のファッション・カメラマンとして活躍するも、80年代に商業写真から退き、世間から姿を消したソール・ライター(1923-2013)。しかし2006年、ドイツのシュタイデル社から出版された作品集をきっかけに再び脚光を浴び、世界的なセンセーションを巻き起こします。時にソール・ライター83歳。相次ぐ展覧会開催や出版にとどまらず、2012年にはドキュメンタリー映画「写真家ソール・ライター 急がない人生で見つけた13のこと」(日本公開は2015年)が公開されるなど、その名前と作品は多くの人々の知るところとなります。そして待望の日本初回顧展を昨年の東京会場につづき、関西で開催いたします。ニューヨークのソール・ライター財団の全面的な協力を得て、同財団所蔵の写真作品(モノクロ、カラー)をはじめ、絵画作品やスケッチブックなどの貴重な資料を含めた約200点を一堂に紹介します。「私たちが見るものすべてが写真になる」というライターの言葉にもあるように、日常のなかで見過ごされがちな一瞬のきらめきを天性の色彩感覚でとらえ、「カラー写真のパイオニア」と称された伝説の写真家に迫ります。

入館料 | 一般800(700)円、大高生450(350)円、中小生150(100)円

*()内は20名以上の団体割引

*兵庫県内の小中学生はココロカード提示にて無料

*4市1町在住(伊丹市・川西市・宝塚市・三田市・猪名川町)の高齢者割引有
(平日60歳以上、土日祝65歳以上)

イベント

夜の講演会「ソール・ライターと1950年代アメリカ文化」

講師 | 柴田元幸(東京大学文学部特任教授/翻訳家/アメリカ文学研究者)

日時 | 4月7日(土)18:30-(1時間半予定) 会場 | 美術館展示室内

聴講料 | 1,000円(展覧会観覧料込) 定員 | 50名 *要事前申込(先着順)

申込方法 | 往復ハガキに参加者のお名前(2名まで)と代表者のご連絡先(郵便番号・住所・電話番号)をご記入の上、3月23日(金)消印有効までに伊丹市立美術館「講演会係」(〒664-0895伊丹市宮ノ前2-5-20)へ郵送してください。

*締切前に定員に達した場合はその時点で受付を終了します。

*就学前のお子様の入場はご遠慮ください。

記念講演会

講師 | マーギット・アープ(ソール・ライター財団創設者/ディレクター)

日時 | 4月15日(日)14:00-

会場 | 美術館1階講座室 定員 | 120名

*要当日観覧券/聴講無料/当日10時より1階チケット受付にて整理券配布

特別上映会「写真家ソール・ライター 急がない人生で見つけた13のこと」

日時 | 4月29日(日)・5月12日(土) 11:15-(11:00開場 約75分)

会場 | 美術館1階講座室 定員 | 80名

*要当日観覧券/聴講無料/当日10時より1階チケット受付にて整理券配布

今春、関西でカラー写真が楽しめるオススメ展覧会!

鶴川実花写真展 UTAGE 京都花街の夢 | 4月14日(土) - 5月13日(日) | 美術館「えき」KYOTO

永遠の少年、ラルティエール 写真は魔法だ! - | 4月21日(土) - 6月3日(日) | 細見美術館



《雪》1960年

《郵便配達》1952年



《床屋》1956年

《バス》1954年

全てソール・ライター財団蔵 ©Saul Leiter Foundation



伊丹市立美術館

〒664-0895 兵庫県伊丹市宮ノ前2-5-20

TEL | 072 772 7447 <http://www.artmuseum-itami.jp>

交通案内 | 阪急伊丹駅より徒歩北東へ約9分 / JR伊丹駅より徒歩北西へ約6分 / 阪急バスの伊丹中央停留所より徒歩北へ約3分

*専用駐車場はありません。宮ノ前地下駐車場(有料)をご利用ください。

Photographer

Sau/Leiter

ニューヨークが生んだ伝説
写真家 ソール・ライター 展

2019
3.9
SAT

5.9
THU

10:00
~
18:00

※ 観覧券の販売は17時30分まで。
「休館日」
3月11日(月)~25日(月)、4月8日(月)~22日(月)



《赤信号》1952年 ソール・ライター財団蔵
© Saul Leiter Foundation

A Retrospective

新潟県立万代島美術館
The Niigata Bandaijima Art Museum

観覧料

当日券：一般 1,100円(900円)

大学・高校生 900円(700円) 中学生以下 無料

前売券：900円(一般のみ)

※ () 内は有料20名様以上の団体料金です。
※ 障害者手帳・療育手帳をお持ちの方は無料です。

主催：新潟県立万代島美術館 TONYテレビ新潟

後援：新潟市教育委員会 新潟日報社 朝日新聞新潟支局 毎日新聞新潟支局 読売新聞新潟支局

産経新聞新潟支局 ケイブルテレビNOV エフエムラジオ新潟 FM PORT 79.0 FM KEINTO

ラジオチャートエフエム新潟 エフエム山崎山崎放送 ラジオエフエム山崎 エフエム山崎放送

協力：ソールライター財団 ニューヨーク市観光局 デルタ航空 富士フイルムイメージングシステムズ 新潟県立美術館友の会

キュレーター：ボリス・グエルマル 企画協力：コンタクト

お問合せ：新潟県立万代島美術館 〒950-0078 新潟市中央区万代島5-1 朱鷺メッセ内 万代島ビル5F

TEL 025-226-0606 <https://bandi.pref.niigata.jp/>

写真を見る人への写真家からの贈り物は、

日常で見逃されている美を時々提示することだ。

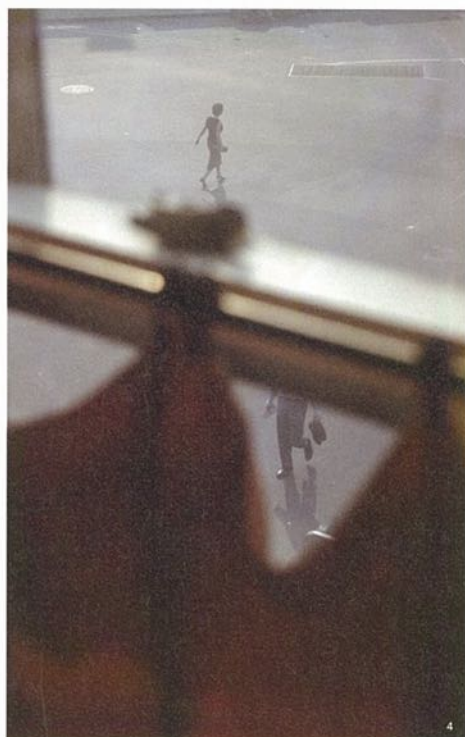
ソール・ライター

ソール・ライター[1923-2013]は、1950年代からニューヨークで第一線のファッション写真家として活躍しながら、1980年代に商業写真から退き、表舞台から姿を消しました。しかし、2006年にドイツの出版社シュタイデルが刊行したカラー写真の作品集『Early Color』により、83歳にして「カラー写真のパイオニア」として一躍注目を浴びる存在になり、以後、世界各地で展覧会開催や出版が相次ぎ、多くの人々に知られることになりました。2017年には待望の日本初の回顧展が東京で開催、ニューヨークのソール・ライター財団所蔵の写真・絵画作品とその他貴重資料が一堂に紹介されて、大きな反響を巻き起こしました。

日常の中で見過ごされがちな一瞬のきらめきを天性の色彩感覚で捉える伝説の写真家ソール・ライター。東京、伊丹に次いで、3会場目となるこの絶好の機会をどうぞお見逃しなく！

●前売券のご案内「一般のみ9000円」
1月18日から3月8日まで販売
「販売所」セブンイレブン、ローソン、ファミリーマート（JTBレジャーチケットコンビニ3社共通商品番号02500352）、万代島美術館ミュージアムショップ、県内プレイガイドなど

次回展覧会のご案内（予定）
所蔵品展
「コレナニ!? びじゅつ」
5月25日（土）ー6月30日（日）



会期中のイベント

○講演会

「ソール・ライターと1950年代アメリカ文化」
3月9日（土）14時ー15時30分「参加無料・申込不要（先着200席）」
「講師」柴田元幸氏（東京大学名誉教授／翻訳家／アメリカ文学研究者）
「会場」NICOプラザ会議室（朱鷺メッセ内万代島ビル11階）

○トーク

「ソール・ライター／写真／ニューヨーク」
3月24日（日）15時ー16時30分「要観覧券・申込不要」
「出演」平間至氏（写真家）、吉原悠博氏（美術家／写真館主）
佐藤正子氏（本展企画者）
「会場」展示室内にて

○学芸員による

ギャラリートーク
4月14日（日）14時から「要観覧券・申込不要」
「会場」展示室内にて

●新潟駅からタクシー約8分／徒歩約25分／バス約15分（万代口バスターミナルより「佐渡汽船線」（3番線）・「観光循環バス」（2番線）に乗り「朱鷺メッセ」下車）
●自動車・高速道路北陸道「新潟西インターチェンジ」／磐越道「新潟中央インターチェンジ」／日東道「新潟亀田インターチェンジ」から一般道へ。新潟バイパス・亀田バイパスを紫竹山インターチェンジで降りて、栗ノ木バイパスを新潟西港方面へ。
●新潟空港からタクシー約20分

「駐車場」
①朱鷺メッセ駐車場
（A・E駐車場※Cは思いやり駐車場）
1時間まで無料（1時間経過後、1000円／30分）
TEL:025-2466400
②万代島ビル内駐車場（1F、M2F）
100円／20分
TEL:025-2491044



●展示室の床は靴音が響きやすいので、柔らかい、あるいは平らな靴底の履物をお勧めいたします。

新潟県立万代島美術館
The Niigata Bandaijima Art Museum

〒950-0078 新潟市中央区万代島5-1
朱鷺メッセ内 万代島ビル5階
Tel:025-290-6655
<https://banbi.pref.niigata.lg.jp/>

1.〈タクシー〉1957年 2.〈ソムズ・バンドリー、Harper's Bazaar〉1963年頃
3.〈バス〉1954年 4.〈赤いカーテン〉1956年 5.〈ジョー・ビアソン〉1948年頃
作品全て ソール・ライター財団蔵 ©Saul Leiter Foundation

●観覧料をお支払いの際、割引券を美術館受付にお渡しください。
●1枚につき5名様、当日観覧料から100円をお引きいたします。
●前売券、団体割引、その他割引との併用はできません。
●割引券の複写（コピー）はご利用になれません。

写真家・ソール・ライター展
100円割引券
（前売券・団体割引・その他割引との併用はできません）